

第 10 回日本健康運動看護学会学術集会

大会長 横山 美江
大阪市立大学医学部看護学科 教授

大会長 あいさつ

本学会は、健康を育む専門職として、子どもから高齢者に至るすべての人々が日常生活において QOL を高めるための「健康志向運動」を推進していくために設立し、10 年の節目を迎えることとなりました。これまで、健康や運動に関する研究報告や活動報告を行う学術集会の開催、ならびに健康運動看護師(通称:スポーツナース)の育成に勤めてまいりました。

近年、健康志向が高まる中、本年は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、国民の運動やスポーツへの関心がますます高まっているところでございます。令和元年という新たな元号の始動年にふさわしく、運動やスポーツの和も広げていきたいと考えております。

本年の学術集会は、「人生 100 年時代の健康づくりと運動」をテーマに、大阪で開催する運びとなりました。本学術集会の特別講演では、運動生体医学の立場から、「脳から見た食欲の仕組みと運動とのつながり」についてご講演いただきます。また、教育講演は、「人生 100 年時代の健康づくり」についてご講演いただき、シンポジウムでは、「健康寿命延伸のための健康政策と運動」をテーマに大阪市内で展開されている「百歳体操とその効果」等について報告していただきます。

第 10 回学術集会は、令和元年 12 月 14 日(土)に、新大阪駅から大阪メロで、伊丹空港から大阪モノレールで、いずれも 15 分の千里中央駅から徒歩 3 分の『千里ライフサイエンスセンター』で行います。食いだおれの街大阪での開催です。学会終了後は国際化の進む梅田や道頓堀を散策し、適度に美味しいものを食べていただき、翌日から大いに身体を動かす運動習慣を身につけていただければ幸いです。皆さまの多数のご参加を心よりお待ちしております。